

各地区の女性防火クラブから

「華陽女性防火クラブの活動」

華陽女性防火クラブ

会長 岡田 啓子

華陽女性防火クラブは、現在三十二名で、校下に存在する有志で組織されている団体です。クラブの目的は、消防に対する知識を習得するとともに、家庭における火災予防に努め、火災のない平和で豊かな地域づくりに寄与することです。

その一つに、岐阜中消防署東南分署にご指導いただき、華陽市民消火隊の方々と合同訓練を年に五回行なっております。消火隊の方々は、ポンプを使用して、放水までの手順と放水訓練を行います。女性防火クラブ員は、ホースの接続訓練を行います。私は、初めて参加して体験しましたが、最初はうまく出来ず、何度もお指導いただき出来るようになりました。消防署の方は、いとも簡単にやられるのでびっくりし、日頃の訓練のたまものだと感心し、日夜、私たちの生活を守ってくださっているのだと、感謝の気持ちになりました。

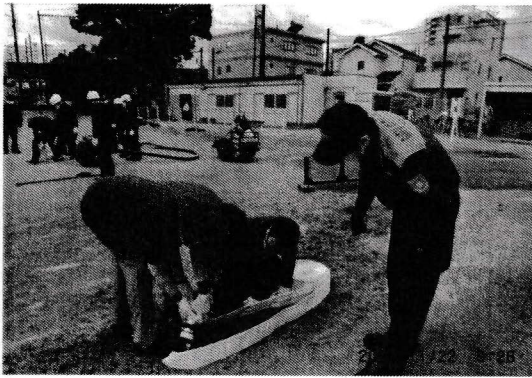
もう一つは、赤十字奉仕団華陽分団の方々の合同訓練ですが、今年度は新型コロナウイルス感染症のため実施できず、中止となりました。

他にも行事はありましたが実施できずに残念でなりません。防火について、より一層知識を高めたいと思います。

『マッチ一本

火事のもと

火の用心』



ホース接続訓練の様子



「長良西女性防火クラブの活動」

長良西女性防火クラブ

会長 渡辺 礼子

長良西女性防火クラブは、自主防災隊組織の活動も担っています。

今年度は、様々な行事が中止される中、活動が制限され苦労しました。しかし、どんな時も災害は起きます。いざというときのために、備えることも大切です。前年度研修会で学んだ、避難所に行かなくて済むための備えを復習し、クラブ員の意識を高めるために、災害用トイレの見本を配布することにしました。災害時に一番困るトイレの問題を考え、それぞれの家庭で試してみ、必要な量を備蓄してもらうのが目的です。

避難所が開設された時を想定した訓練では、避難所準備の手順や、テントの組み立てなどを行いました。また、アルファ米を使った炊き出し訓練を小学生と共に学びながら実施し、おにぎりを試食してもらいました。子ども達が家庭で防災について話題にしてくれるといいなと思います。クラブ員も今年度は六十五名

と、増えてきました。女性防火クラブの立場から、地域を守る活動を、これからも続けていきたいと思えます。



炊き出し訓練の様子

大切な家族や財産を火災の被害から守るため、**寝室・階段**（寝室が二階以上の場合）に住宅用火災警報器を必ず設置してね！  
十年経ったら**電池・機器交換**の時期です。維持管理も忘れずに！

